

地域密着型サービスの今後の課題と展望

地域密着型サービスの存在意義と質に注目しよう

認知症の人の地域での生活を支え、尊厳ある暮らしをサポートする地域密着型サービス。一人ひとりとじっくりと関わり、その人らしい暮らしの支援者として、多くの事業所がこの地域密着型サービスに取り組んできました。2008年2月末現在、地域密着型サービスは全国で14,500事業所に達しようとしています。中でも多数を占めるグループホームでは、介護保険導入当初から8年間で36倍と急増しています。

どれほど多くの認知症の人がその人らしい笑顔を取り戻し、堂々とまちの中での暮らしを送れるようになったのでしょうか。家族もまた、本人の蘇った笑顔や落ち着いた表情から、どれだけのやさしさと安らぎを取り戻してきたのでしょうか。

こうした急激な増加の一方で、介護サービスに携わる人材の確保、育成のしくみが追いつかないという状況も否めません。サービスの理念や内容が十分でない事業所もあり、社会的信頼を大きく揺るがす事態も生じています。質が伴わない事業所があることは、利用者や家族の不安や不利益をもたらすことはもとより、地域密着型サービス全体の発展に大きくブレーキをかけてしまうことになりかねません。

利用者や地域社会にとって、地域密着型サービスとは何か、その存在意義と果たす役割を確認するとともに、理念を形骸化させずに利用者を支援していくための質の確保・向上に向けた取り組みが、今、求められています。

人材育成と質確保に欠かせないサービス評価

本編の事例のテーマは、小規模多機能型居宅介護ならびに認知症高齢者グループホームで実施されているサービス評価（P2参照）における重点項目です。

それぞれの事例には、利用者、家族、地域のニーズに対して、ケアスタッフが一丸となって真摯に取り組んでいく過程そのものが、職員自身を成長させ、サービスの質の向上に繋がっていることがうかがえます。これらの取り組みを通して、家族との協働や信頼関係が生まれ、地域において認知症の人への理解や協力関係が培われていくことが重要です。

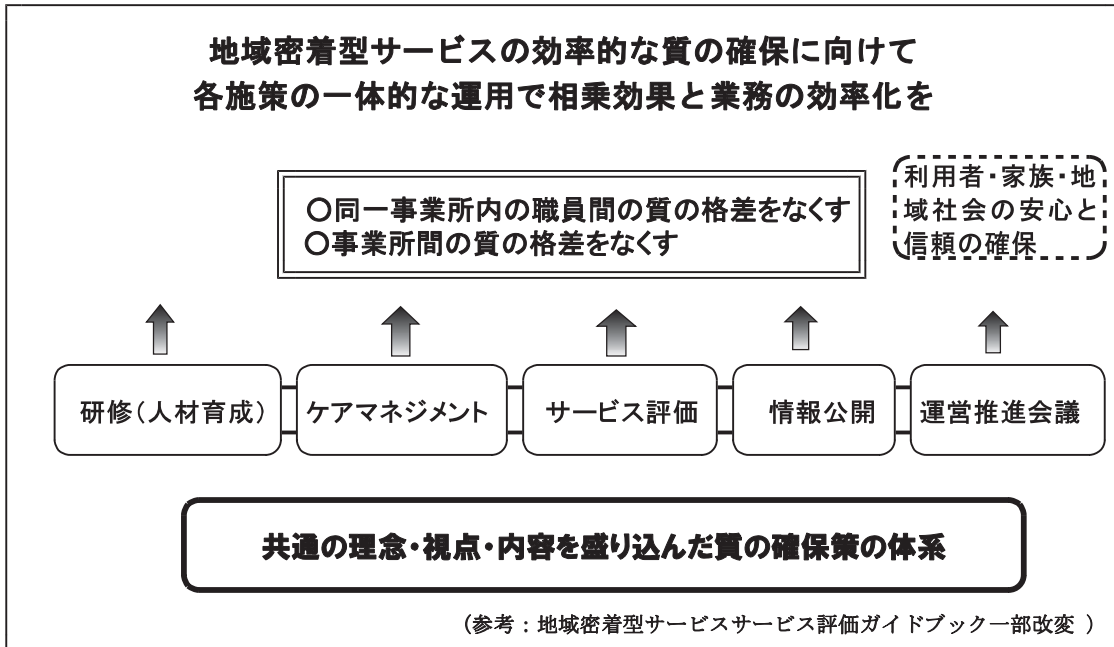
今年度、地域生活サポートセンターでは、サービス評価が事業所にとってどのような効果をもたらしているのか、検証を行いました。（厚生労働省平成19年度老人保健健康増進等事業「地域密着型サービスの質の確保と向上に向けた調査研究」）

検証結果ではサービス評価を実施することで、職員全体の意識統一とともに良質のケアサービスを学ぶ機会となっており、人材育成としての機能性が上位に挙げられました。また、評価結果をもとに改善に向けて取り組んだ具体的な事例も数多く挙げられ、サービスの質の確保・向上への有効性も明らかになりました。さらに、運営推進会議においてサービス評価の説明を行うことで、地域密着型サービスのあり方の理解や具体的な地域の人々との協働に繋がるという波及的効果もたらしています。

サービス評価は事業所と評価機関における義務としての作業ではなく、目に見えにく

い職員の日頃の努力を客観性をもって社会に示す機会であると同時に、事業所の理念の啓発と地域密着型サービスの土壌を固めていくための手段でもあるのです。

今後、研修（人材育成）やサービス評価、運営推進会議等のさまざまな質の確保対策をバラバラに行っていくのではなく、これらを体系化し、総合的な推進に向けた一連のパッケージシステムとして機能させていくことが重要です。



地域密着型サービスの新たな展開において、本人、家族を中心に、事業所、行政、地域が連動しながら「安心して暮らせる町づくり」を

今後、認知症の人や一人暮らしの高齢者の増加が見込まれる中、全国の市区町村では在宅介護サービスの拡充や高齢者の地域生活を支える拠点づくりが推し進められています。地域に根ざした包括的、継続的なケア体制の構築が求められている今、地域密着型サービスの真価が問われています。

国においても、地域における認知症の理解や早期サービスの普及を一体的に進めるとともに、新たに地域における総合的な支援体制の構築・充実を図ることを目的とした「認知症地域支援体制構築等推進事業」を創設し、現在モデル事業を実施しています。これは、地域において認知症の人と家族を支えるために、認知症への対応を行うマンパワーや地域のケア拠点を地域資源として横断的にネットワーク化し、連携を図りながら有効な支援を行う体制を作ることを目的としています。

本格的な高齢社会を迎え、認知症の人が急増する中、わが町で良質な地域密着型サービスが育つためには何が必要なのか、何ができるのか、ケア関係者や行政はもとより、利用者・家族、地域の人々一人ひとりが考えていくことが望まれます。そして、本書を参考に良質なケアサービスを共に育て、「安心して暮らせる町づくり」の実現に向けて、取り組みのきっかけとなっていくことが期待されます。